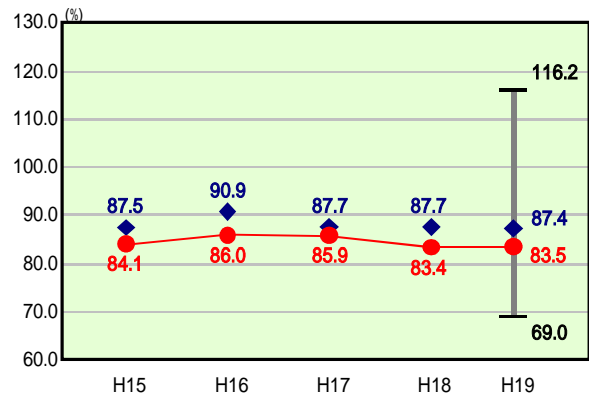


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

経常収支比率の分析

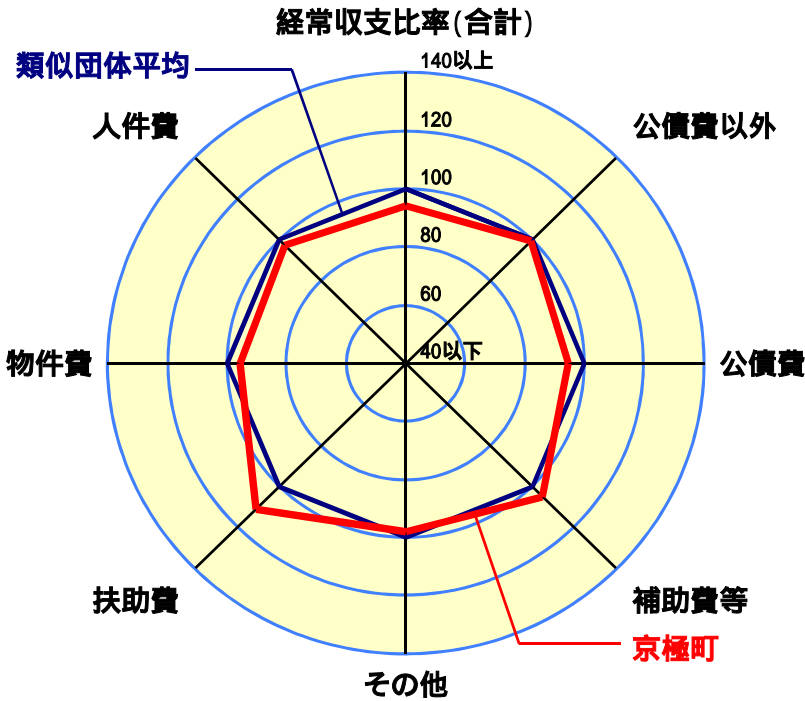
経常収支比率(合計)



当該団体値 ●
類似団体平均値 ◆
類似団体最大値 T
類似団体最小値 ⊥

人口 3,421人(H20.3.31現在)
面積 231.61 km²
歳入総額 3,359,409千円
歳出総額 3,314,062千円

H19類似団体内順位 28/129
全国市町村平均 92.0
北海道市町村平均 92.0



- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率
公債費償還のピークが過ぎたため、減少傾向にある。今後も経費削減に努め、指数の減少を目指す。

人件費
普通会計において、H17～H18年は、退職による欠員の補充を行わなかったため、数値は、急激に下降した。今後は、特別会計も含め人件費削減に取組む必要がある。

物件費
各公共施設の老朽化に伴い、修繕等が増えている。
H19年度は、原油高騰による光熱費の上昇があったが、経常経費削減により数値が減少した。今後も経費削減に努める。

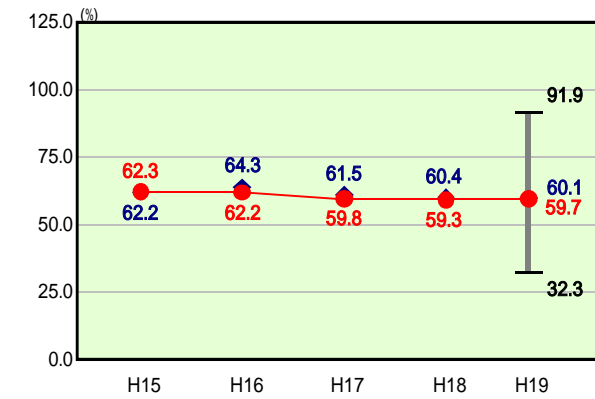
扶助費
障害、老人措置費等の扶助により類団平均値を上回っている。
国の制度を利用する方への扶助のため、町村独自削減は難しいが、今後も適切な扶助を行う。

公債費
公債費ピークが過ぎたため、年々減少傾向にある。今後も減少していく。

補助費等
各団体の補助金の見直しを行ったが、類似団体数値を上回っている。
各種損害保険料等と公課費の削減は、難しいが更なる補助金削減に努める。

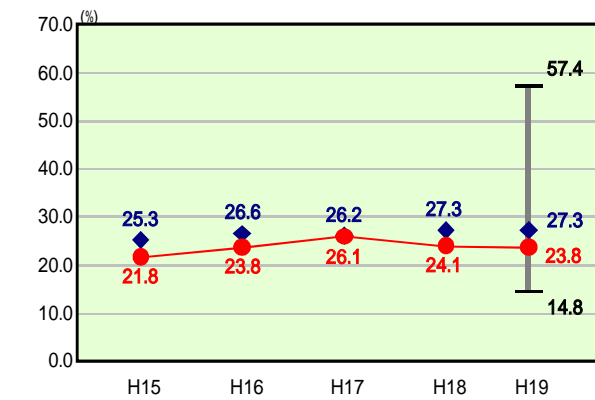
普通建設事業費
H17～H18は類団数値と同額を推移していたが、H19は、町民プールを建設したため建設事業費が増加した。H20年度は減少の予定。

公債費以外



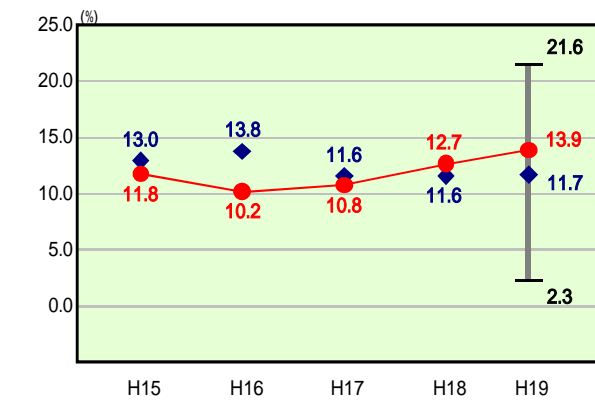
H19類似団体内順位 59/129
全国市町村平均 71.7
北海道市町村平均 68.6

公債費



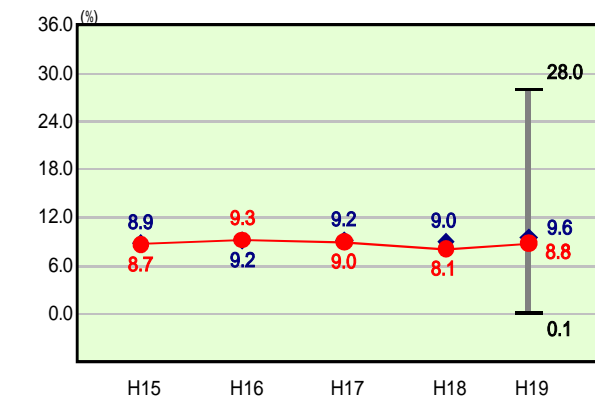
H19類似団体内順位 36/129
全国市町村平均 20.3
北海道市町村平均 23.4

補助費等



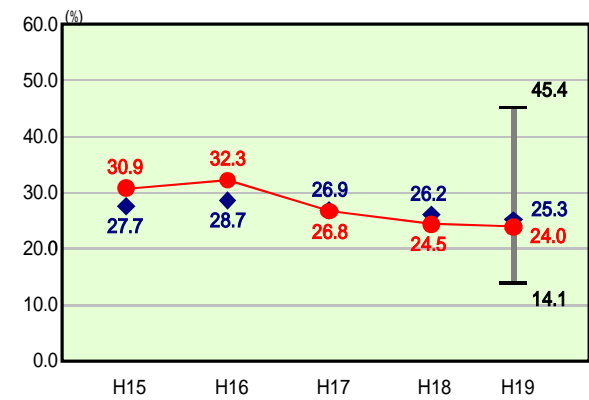
H19類似団体内順位 96/129
全国市町村平均 10.4
北海道市町村平均 11.4

その他



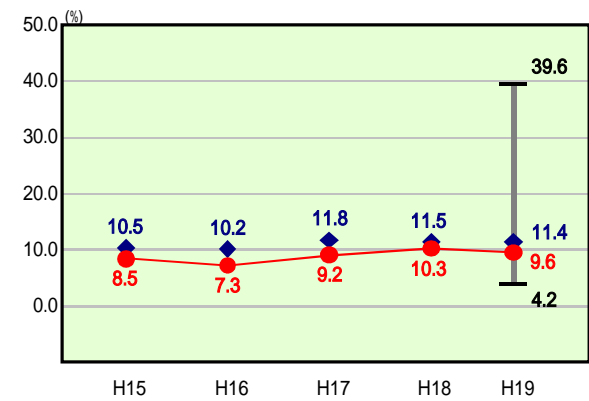
H19類似団体内順位 65/129
全国市町村平均 11.4
北海道市町村平均 11.8

人件費



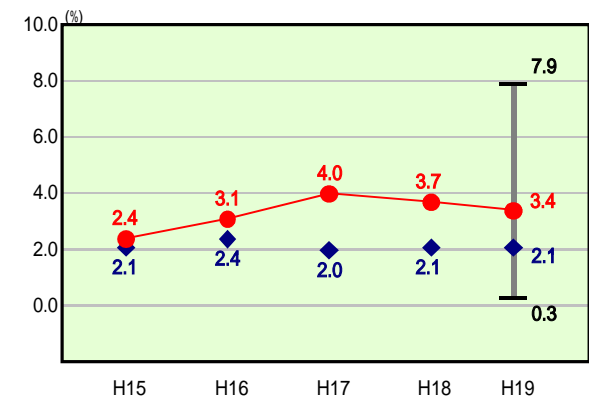
H19類似団体内順位 45/129
全国市町村平均 28.0
北海道市町村平均 25.2

物件費



H19類似団体内順位 37/129
全国市町村平均 13.1
北海道市町村平均 11.4

扶助費



H19類似団体内順位 115/129
全国市町村平均 8.8
北海道市町村平均 8.8